

2024年 9月14日

個人投資家向け 会社説明会

東京証券取引所 プライム市場
証券コード 7989

 立川ブラインド工業株式会社



1.グループ概要

2.決算概況

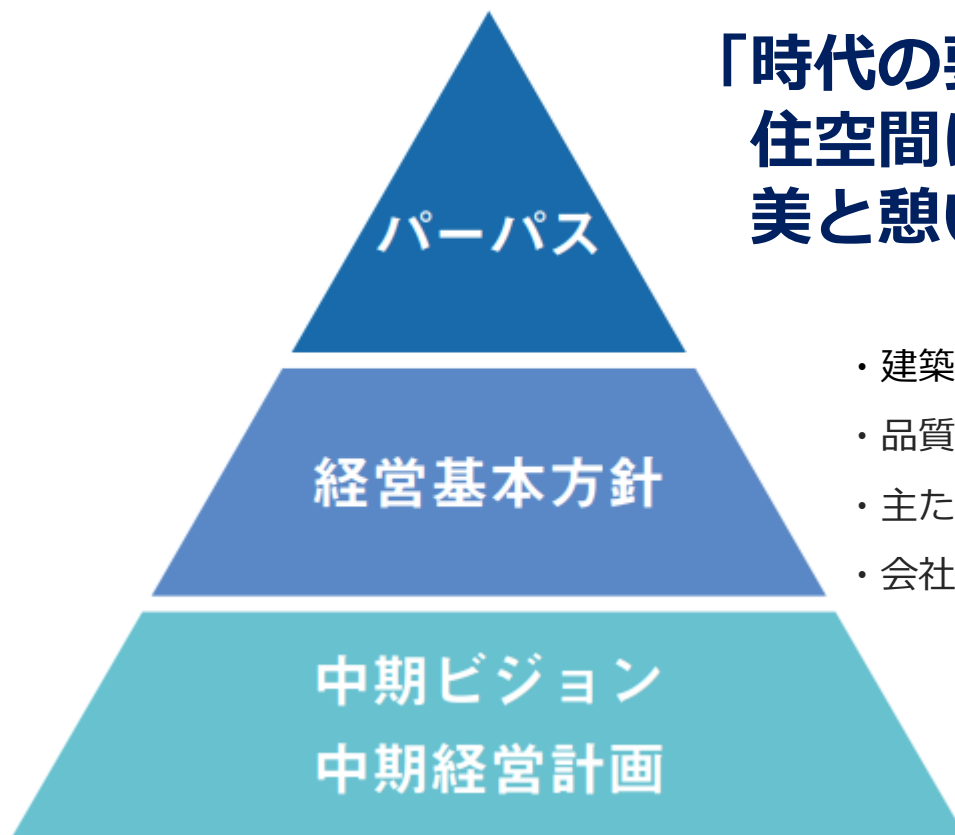
3.成長戦略

4.企業価値向上の取組み

5.株主還元

1. グループ概要

- ・ タチカワブラインドグループのパーパス
- ・ 会社概要
- ・ 事業セグメント
- ・ 事業展開



**「時代の要請に応え、
住空間におけるインテリアを創造し、
美と憩いを通じて社会に貢献する。」**

- ・ 建築物内外の生活環境の改善により、社会に貢献する。
- ・ 品質及び価格で十分な競争力を有する製品を生産する。
- ・ 主たる製品において、シェアの大半を占有する。
- ・ 会社の繁栄と社員個人の幸福が一致する経営を行う。

タチカワビジョン 2025 ～継続と進化～

「建築物内外の生活環境の改善により社会に貢献する」



家庭・企業・都市の中に次代の生活文化を創造する

家庭
(HOME)

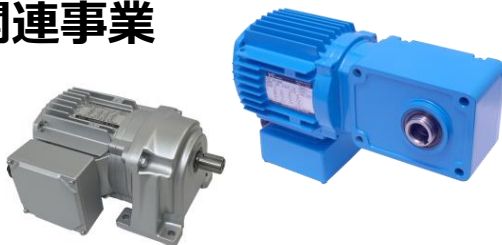
企業
(OFFICE)

都市
(PUBLIC)

室内外装品関連事業



減速機関連事業



駐車場装置関連事業



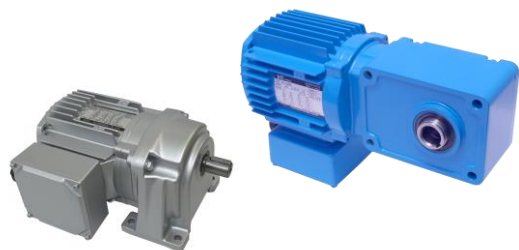
社 名	立川ブラインド工業株式会社 (東証プライム市場 証券コード 7989)		
創 業	1938 (昭和13) 年 5月 1947 (昭和22) 年に株式会社改組		
資本金	44 億 7,500 万円		
連結総資産 ※	631 億円		
売上高 ※	連結 413 億円 (単体 314 億円)		
従業員 ※	連結 1,289 人 (単体 828 人) パート・契約社員除く		
本 社	東京都港区三田三丁目1番12号		
事業内容	各種ブラインド／間仕切／カーテンレールの 製造・販売・設計施工		
拠 点	営業拠点	: 14支店 57営業所 (出張所含む)	
	製造拠点	: 2工場 3製作所	
	ショールーム	: 10ヶ所 (海外1ヶ所含む)	
	ディスプレイスペース	: 2ヶ所	
	連結子会社	: 8社	

※ 連結総資産、売上高、従業員は、2023年12月末現在

減速機関連事業

売上高 3,801百万円

営業利益 335百万円



駐車場装置関連事業

売上高 3,179百万円

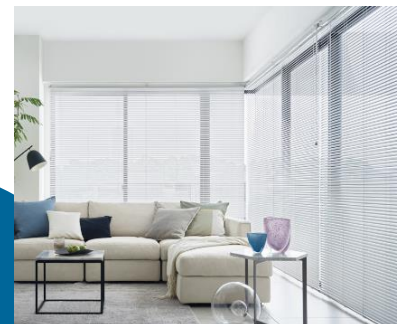
営業利益 226百万円



室内外装品関連事業

売上高 34,323百万円

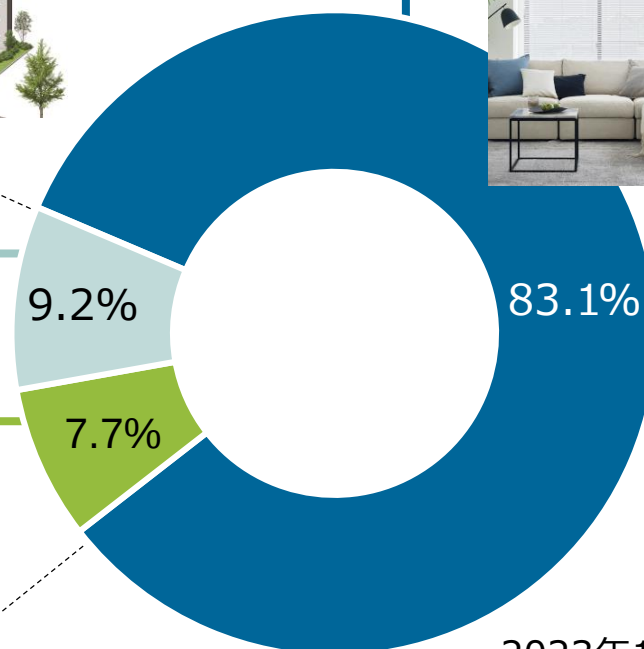
営業利益 3,484百万円



富士変速機(株)

- ・ 名証メイン市場
- ・ 資本金：25億750万円
(当社58.88%保有)
- ・ 従業員：227名
- ・ 実績：売上 71.4億円 (前年比-4.5%)
経常利益 5.4億円、純利益 3.9億円

[2023年12月31日現在]



2023年12月期実績

主な製品群



ヨコ型ブラインド



タテ型ブラインド



カーテンレール



ロールスクリーン



プリーツスクリーン



間仕切り

用途は、「住宅向け」だけでなく、「オフィス向け」、「公共施設向け」など多様

光を演出する、 お部屋をコーディネートする。

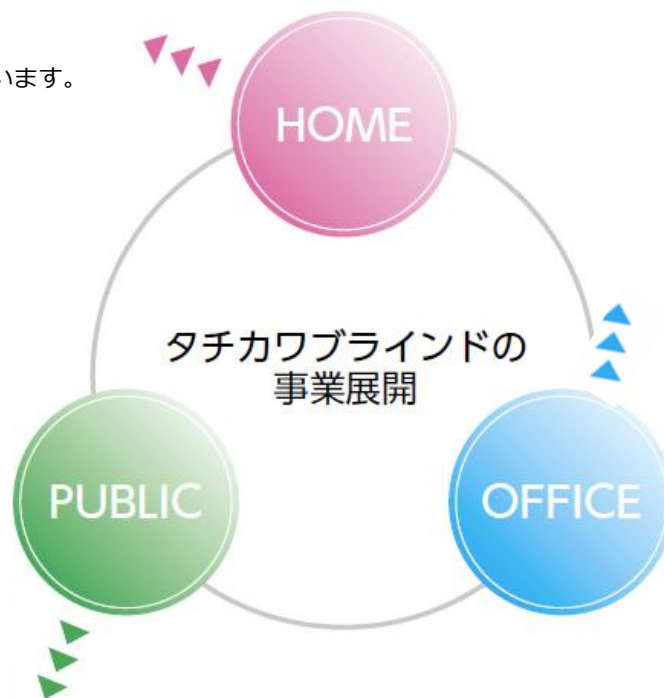
本当にリラックスでき、
快適さを実感できる空間とはなにか…。
私たちは、性能、素材、色彩など、
さまざまな視点からその本質をつねに追求しています。



パーフェクトシルキー〔リビング〕



プレイス〔医療・福祉施設〕



高度化するビジネス空間を、 もっと快適に。

オフィスで働く人たちが
仕事に専念できる環境をつくるために。
優れた操作性や省エネ効果の高い
ブラインドなどを取り揃え、あらゆる
快適空間づくりの提案を行っています。



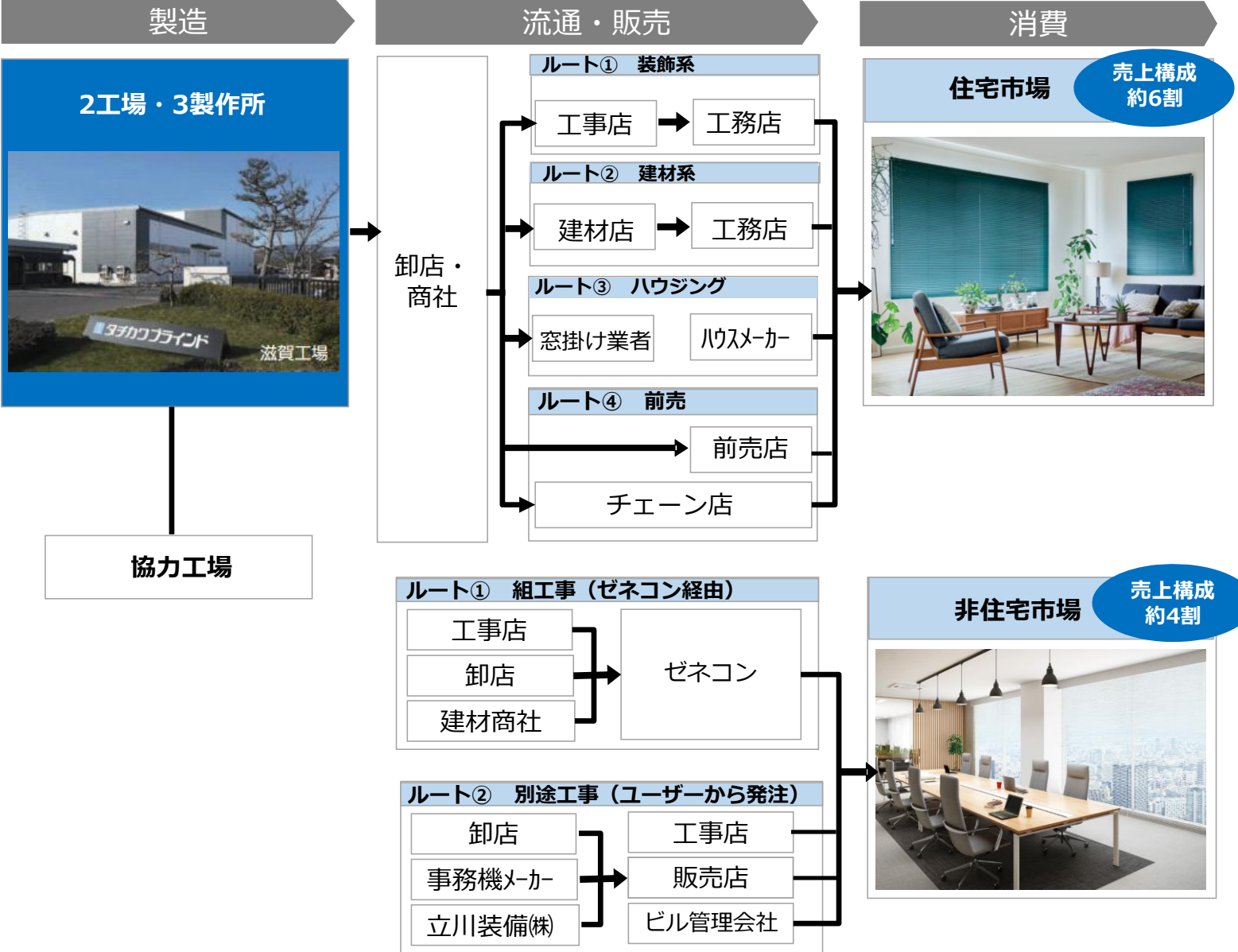
左：東京ミッドタウン八重洲
電動ヨコ型ブラインド「ローリー-ESSタコスⅡ」
電動ロールスクリーン

右：読売テレビ 新社屋
電動ヨコ型ブラインド「ローリー-ESS半外装タコスⅡ」
電動ロールスクリーン 他

公共施設にふさわしい快適性を追求。

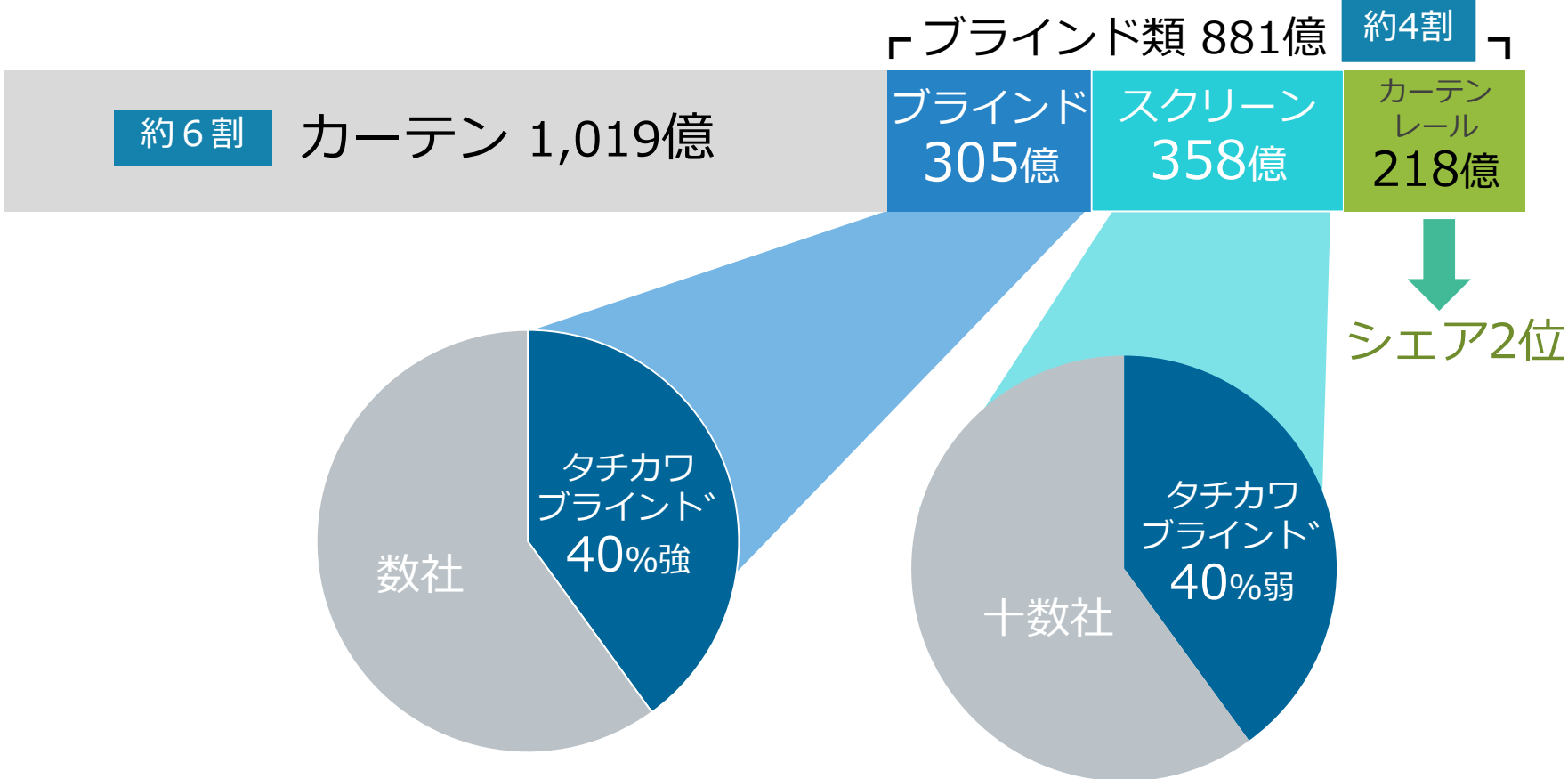
タチカワブラインドは、今までに庁舎、ホテル、学校、医療・福祉施設、スポーツ施設など、
都市のシンボルとなる建築物をはじめとしたさまざまな公共施設に納入した確かな実績を誇ります。

■ 室内外装品関連事業の商流



強み①

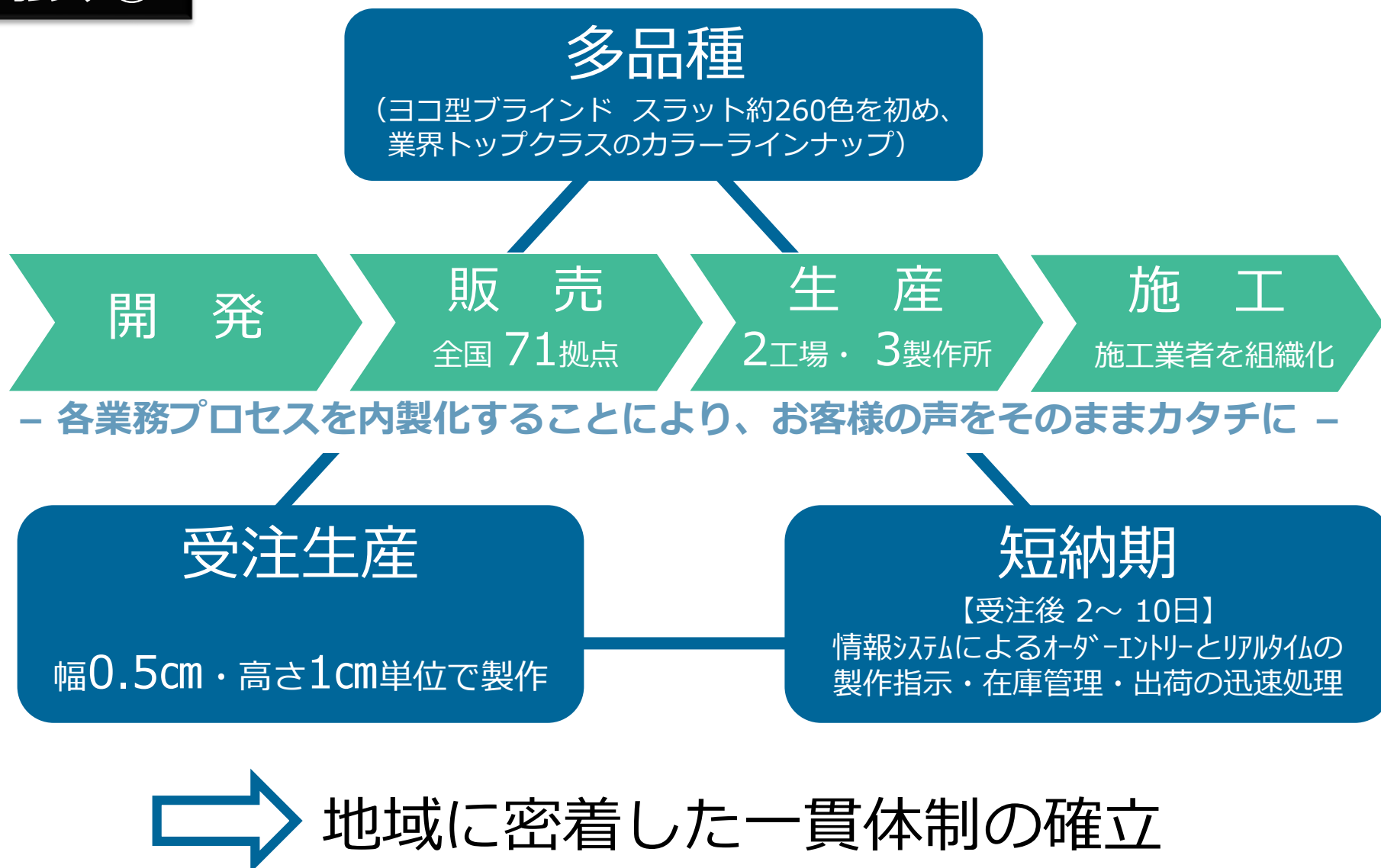
2022年度 窓まわり製品の市場規模
卸売ベース **約1,900億円**（内、ブラインド類 **約881億円**）



ブラインド、スクリーンでNo.1シェア

(社) 日本インテリア協会「2022年度のインテリア事業の概況」他より推定

強み②



強み③

支店・営業所

国内71カ所

ショールーム

国内 9カ所

ディスプレイスペース

国内 2カ所

製造拠点

国内 5カ所



減速機関連事業

減速機：歯車でモーターの回転速度を減速して
大きな力を出す機械装置

産業から暮らしの分野まで、幅広い分野で使用



標準仕様

- ・トップランナー
- ・インバータによる可変速運転
- ・ブレーキ手動開放装置付き
- ・異電圧対応
- ・防水対応(IP65)一部機種のみ
- ・低騒音・剛性・長寿命

食品機械向け仕様

- ・H1グリース(食品機械用)
- ・ステンレス出力軸
- ・抗菌塗装
- ・ファンレスモータ
(微粉体飛散防止)

駐車場装置関連事業

くし歯式など、独自の技術をベースに
パーキングシステムを開発

都市開発事業から、ホテル、福祉施設、病院、
高層集合住宅など、あらゆるニーズに対応



タワー式パーキングシステム (パズルタワー)

ハイスピード
入出庫

省エネ・省資源

耐震構造
低騒音・低振動

安全性

SUPER PUZZLE GS (地下式パーキングシステム)

地下スペースの
有効活用

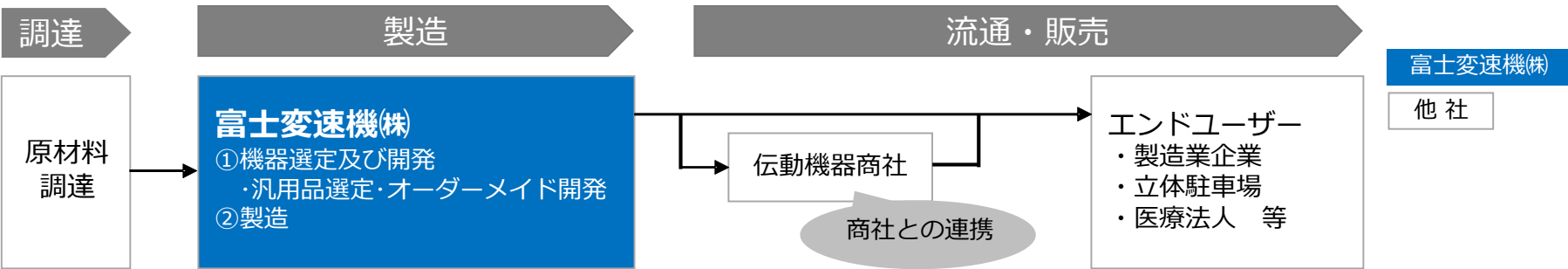
ハイスピード
入出庫

GS/耐力壁に
対応

低騒音・低振動

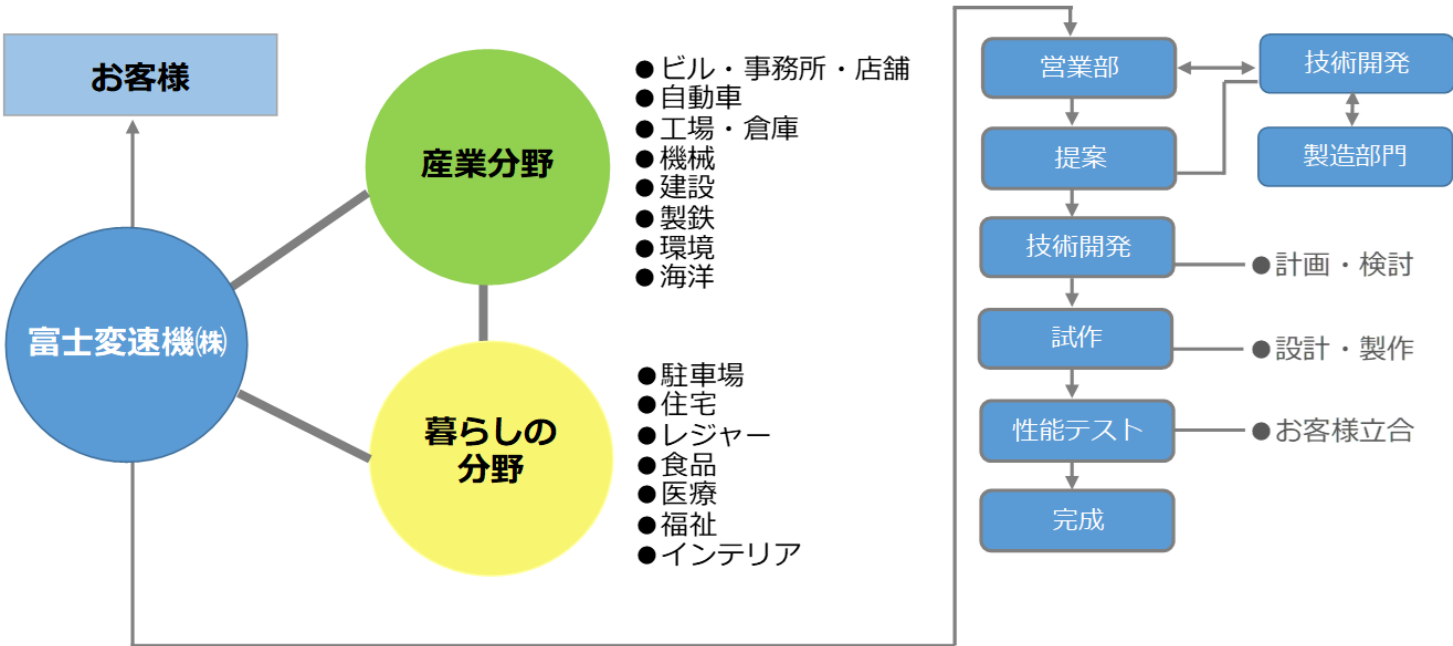


■ 減速機関連事業の商流



強み 個別製品の提案力・開発力

「お客様の理想をカタチに」する、オーダーメイド製品の提案力・開発力



個別製品強化による多様な産業と暮らしへの貢献

歯車技術を応用した各種装置や機器を設計・開発

産業分野

工場：搬送台車用

スマートファクトリーに貢献

無人化工場の生産ラインや自動倉庫などに使用される無人台車(AGV)の車輪駆動装置として使用されています。



工場：ナット締付用

小形でハイパワー

各種の自動組立システムを構成する産業ロボットの末端作動機能として使用されています。



暮らしの分野

食品：養殖用

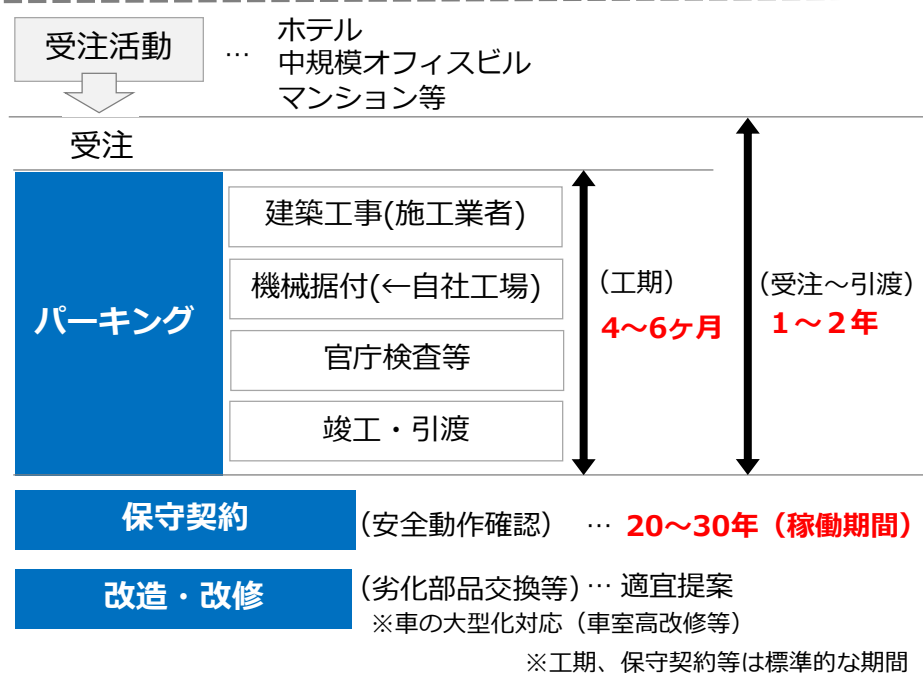
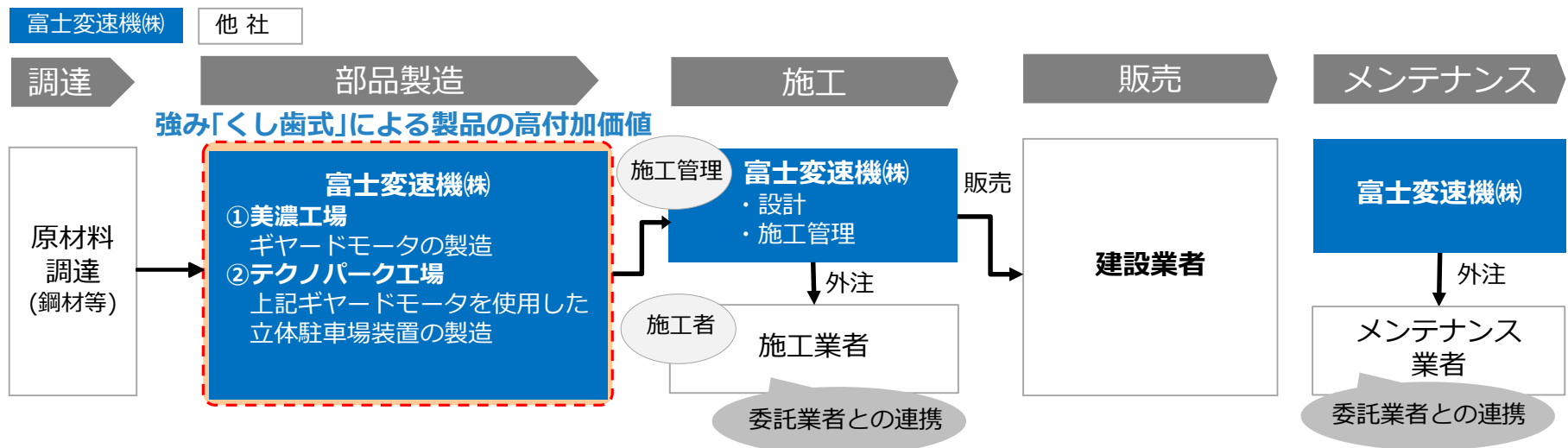
24時間連続で運転

養殖池の水車回転用に使用されています。強度面でも優れ、過酷な運転にも対応できます。



産業から暮らしの分野まで幅広い分野で使用されており、
景気に左右されにくく、安定した収益基盤の構築に貢献。

■ 駐車場装置関連事業の商流



■ 売上高の構成

駐車場装置関連事業 売上高



強み 「くし歯式」による製品の高付加価値化

くし歯式

- パレットレスのため「昇降リフト」が乗り込み階で入出庫どちらにも対応可能
パレット式は「昇降搬器」が空車パレットを載せて乗込み階で入庫待機。出庫時は、空車パレットを空き車室へ収納後、対応
- 「昇降リフト」と「横行トレイ」のくし歯の交差により瞬時に受け渡し

[入庫例]



くし歯式の特長① 「昇降リフトの移動距離短縮」

強み① ハイスピード入出庫

✓ 利用者の利便性向上を望む施主(ホテル等)からの受注多数

ハイスピード入出庫

強み② 省電力

✓ 消費電力はパレット式の1/2
→ エコ×ランニングコスト減

システム	電力量
パレット式	100%
パズルタワー	1/2

パレット式 パズルタワー

くし歯式の特長② 「トレイの落下を防ぐ構造」

強み③ 高耐震性

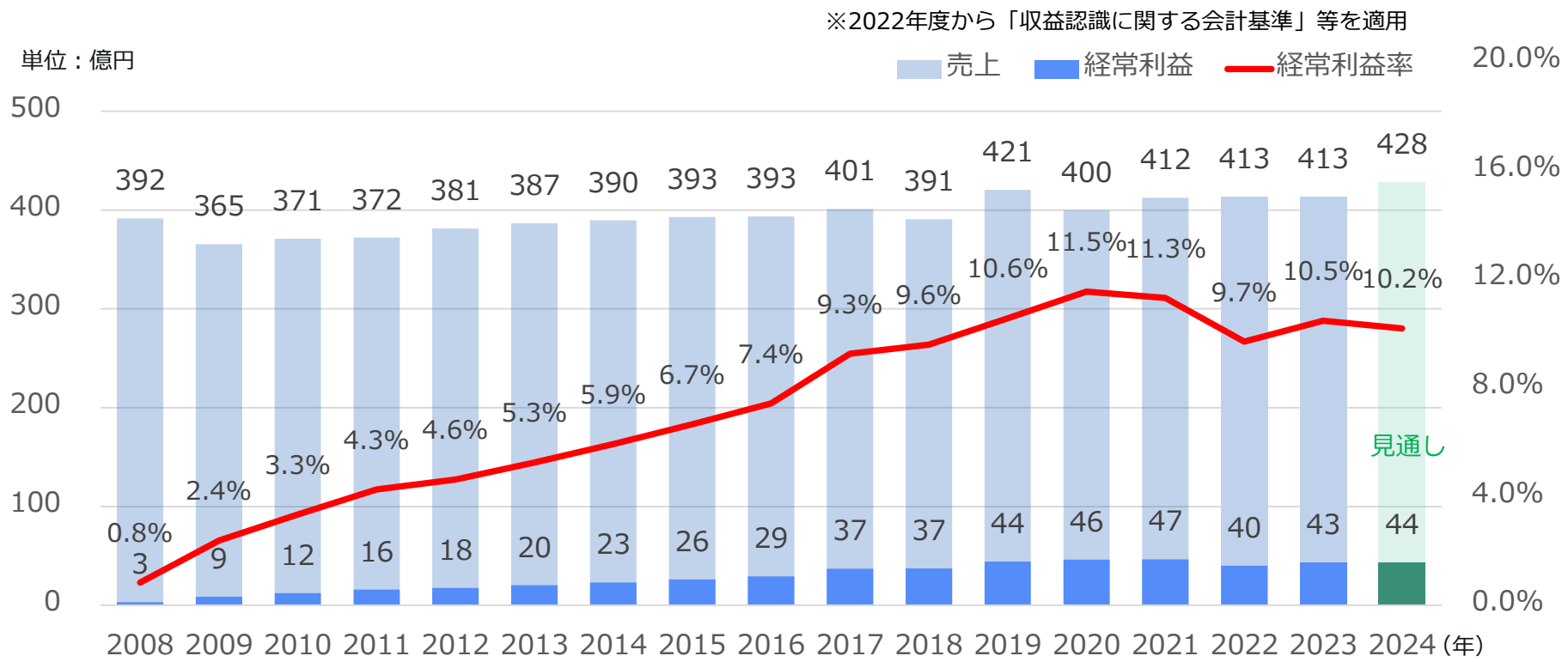
✓ 震災による車両の落下ゼロ
(1995年 阪神淡路大震災)
(2011年 東日本大震災)

ローラーがトレイをガイド

2. 決算概況

- ・ 連結業績推移
- ・ 2024年12月期 第2四半期 連結業績
- ・ 2024年12月期 中間連結貸借対照表

- ・ 2010年以降マーケティングを強化し、高機能・高付加価値製品を生み出していくことで利益率を改善



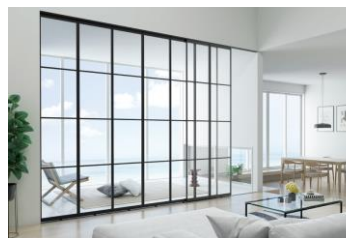
2012年
パーフェクトシルキー発売



2015年
東証市場第1部指定



2019年
プレイス スウィング発売



2022年
滋賀工場 塗装棟稼働



(単位：百万円)

	2024年度第2四半期				2023年度第2四半期	
	金額	構成比	前年比	予算比	金額	構成比
売上高	20,169	100.0%	98.8%	97.7%	20,414	100.0%
室内外装品事業	17,318	—	101.5%	98.0%	17,057	—
減速機事業	1,523	—	79.9%	84.3%	1,907	—
駐車場事業	1,327	—	91.6%	113.4%	1,449	—
売上総利益	8,445	41.9%	99.8%	98.1%	8,461	41.4%
販売費及管理費	6,269	31.1%	99.0%	95.0%	6,331	31.0%
営業利益	2,175	10.8%	102.1%	108.2%	2,129	10.4%
経常利益	2,284	11.3%	99.1%	108.8%	2,306	11.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,539	7.6%	103.9%	112.4%	1,482	7.3%

トピックス

- ・主力の室内外装品関連事業は、住宅着工の減少が続く厳しい環境のなか電動製品、間仕切り製品等の高付加価値製品の拡販に努め、増収を確保。
- ・一部製品の価格改定や販管費の抑制により、営業利益は増益を確保。
- ・通期業績目標の達成に向けて順調に進捗。

単位：百万円

項目	2023年 12月	2024年 6月	増減
流動資産	39,110	38,456	△654
固定資産	24,031	24,288	+256
流動負債	9,963	7,974	△1,988
固定負債	2,736	2,842	+105
純資産	50,442	51,928	+1,485
総資産	63,142	62,744	△397

自己資本比率 72.9% 75.6% +2.7%

主な増減要因

- 現預金△503
- 売掛金△1,490
- 棚卸資産+921

- 有形固定資産△12
 - 取得+514
 - ・ 技術研究棟建設費+240
 - ・ フォレティアリニューアル+202
 - 自然塗料塗装設備・金型購入償却△528
- 投資有価証券+449
 - ・ 保有株式の時価上昇

- 利益剰余金+1,094
 - ・ 当期純利益の計上+1,539
 - ・ 期末配当の実施△445
- 自己株式△164
 - ・ 前年から継続で取得

3. 成長戦略

- ・ 中期経営計画の基本方針
- ・ セグメント別の取組み
- ・ 富士変速機(株) 完全子会社化
- ・ キャッシュアロケーション
- ・ サステナビリティへの取組み
- ・ 中期経営計画（業績目標）の進捗状況

中期経営計画（2023 – 2025）

タチカワビジョン2025 ～継続と進化～

建築物内外の生活環境の改善による社会貢献を継続しながら、
 「ものづくりとマーケティング」「経営基盤の強化」「サステナビリティ」
 に注力し、時代のニーズに応じて進化させてまいります。

室内外装品関連事業

- ・ マーケティングの継続・進化
- ・ 技術革新
- ・ 生産体制の強化
- ・ 戦略に必要な人材の確保と育成
- ・ 計画的な事業拠点整備

減速機関連事業

- ・ 個別品の差別化戦略
- ・ カタログ品の販売強化

駐車場装置関連事業

- ・ 新規物件獲得強化
- ・ 付加価値提案による
改造・改修物件の獲得

サステナビリティ

- E**
 - ・ 温室効果ガス排出量の削減
 - ・ 環境配慮型設計の推進
- S**
 - ・ 人にやさしい快適な環境づくり
 - ・ 健康経営の推進
 - ・ 社員の多様性拡大
- G**
 - ・ コーポレートガバナンス強化
 - ・ リスクマネジメントの強化
 - ・ コンプライアンスの徹底

ものづくりとマーケティング

マーケティングの継続・進化

- ① 「安心・安全・快適・環境・健康」を基本とした製品開発と販売促進
- ② 電動製品、間仕切製品による新たな快適な住空間の提案
- ③ デジタルマーケティングの強化と、リアルとデジタルを融合させたマーケティングの進化
- ④ 利益体質強化に向けた基盤づくり

電動製品



スマートインテリアシェード ホームタコス

電源プラグをコンセントに差すだけの簡単施工
リモコンやスイッチ操作で快適な空間を創出

間仕切



パネル間仕切 プレイス

窓まわり製品だけでなく空間もデザイン

ものづくりとマーケティング

調光ファブリック製品による需要開拓

窓まわり市場において調光ができるファブリック製品の需要が拡大傾向。

ロールスクリーンやタテ型ブラインドの調光ファブリック製品を順次市場投入。
売上が拡大しており、中長期的に成長させていく製品と位置付け。

2024年2月発売

調光タテ型ブラインド 「エアレ」



2023年7月発売

調光ロールスクリーン 「ルミエ」



調光ロールスクリーン 「デュオレ」



2024年2月発売のエアレは、カーテンのような柔らかさと、タテ型ブラインドのすっきりとしたデザインを兼ね備えた、採光と眺望、出入りを自由にできる調光ファブリック製品

ものづくりとマーケティング

技術革新、生産体制の強化

2022年11月 滋賀工場塗装棟新設
国内2拠点目の塗装拠点



2027年 札幌製作所移転

道内物流拠点との統合

2024年9月 技術研究棟新設

新技術 新素材 新製法等の研究施設

2023年4月 新成形棟新設

樹脂部品の生産拠点、外注部品の内製化

広島製作所

福岡製作所

新潟工場



概要

所在地	千葉県船橋市西浦2-8-7
竣工	2024年9月予定
投資額	7.5億円予定（自己資金）
敷地面積	914㎡
構造	地上4階建 建築面積 463㎡ 延床面積 1,372㎡
特長	設置環境を含めた新規研究開発・実証試験拠点 省エネ設備、空調・照明一元管理システム導入



技術研究棟 外観イメージ

建築の狙い

- ・ 複数拠点に分散していた研究・開発設備の集約
- ・ 新たな視点・発想により、住空間における「安心・安全・快適・環境・健康」を基本とした製品開発や価値の創造
- ・ 実際の設置場所や使い方を想定した環境下での製品提案



期待効果

- ・ **開発スピードの向上**
- ・ 社外との技術交流による**開発力強化**
- ・ 当社製品の**提案力強化**
施主、設計、ゼネコンへの機能性訴求による受注獲得機会の強化
- ・ 将来に向けた研究テーマへの取り組み等
新技術や新素材、新製法を活用した研究開発の推進
(IoT、空調や照明との連動、太陽光発電等)

サーボモータ事業譲受による減速機関連事業の強化

サーボモータ事業 譲受（2024年1月）

- ・ 2024年1月に、株式会社東光高岳よりサーボモーター事業を譲受。
- ・ 近年、生産・物流現場の自動化需要が旺盛であり、将来的な減速機事業拡大を目指し、既存事業とシナジー効果を見込めるサーボモーター事業の事業譲渡契約を締結。

バッテリー駆動用ACサーボモータ 発売（2024年4月）

自動化や省人化、歯車ソリューションを活用した提案が可能

A G V（無人搬送車）やA M R（自律走行型ロボット）用途に最適な仕様となっており、物流用AGVの他、重量級の特殊産業車輛まで対応可能。

今後需要拡大が見込まれる自動化や省人化に向けたご提案や歯車ソリューションを活用した、減速機・モータ・ドライバー一体のご提案が可能。



- 目的
- 1. グループガバナンスの強化
富士変速機の少数株主との利益相反関係をなくし、上場会社の短期利益志向から解放することで、長期的な視点でグループ全体の企業価値向上に取り組む。
 - 2. グループ内の営業協働体制の強化による拡販
 - 3. 上場廃止による上場維持コストの低減・収益改善
 - 4. 非支配株主持分利益の内部取込による連結業績の向上

完全子会社化によるシナジー効果

完全子会社化による人材交流・協働の取組み強化		
減速機	富士変速機	当社商流を活用した 建材系・機械系卸への減速機拡販
駐車場装置	当社	ホテル等の物件情報の早期共有 による販促化・受注獲得
	富士変速機	当社を通じた 得意先への販促・販路拡大

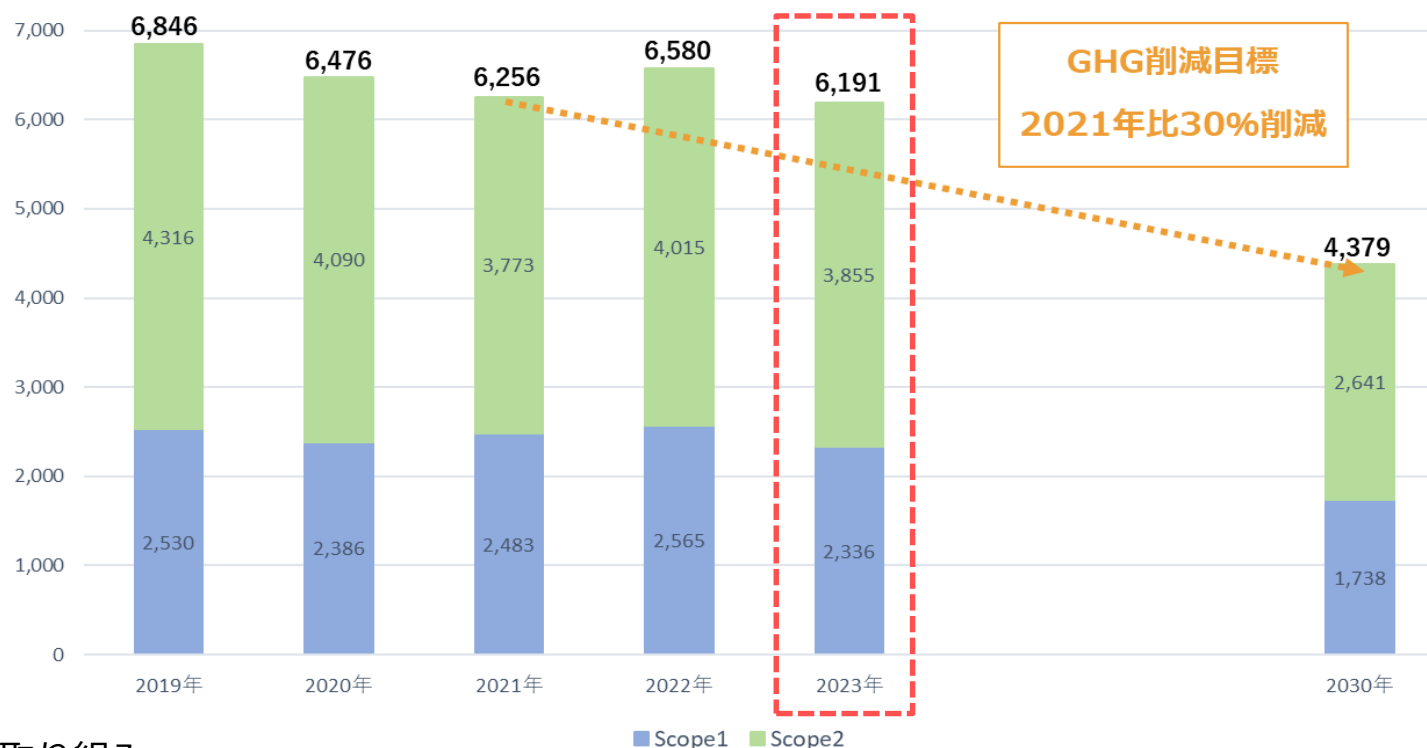
株式交換	株式交換比率	富士変速機 株式1株に対し、当社株式0.25株を交付 交付予定株式 1,639千株 …自己株式を充当
	効力発生日	2024年10月28日（予定）

2023年から2025年までの連結営業キャッシュイン119億円を原資に、株主還元と成長投資を強化
最新では、中期経営計画段階よりも更に積極的に投資する計画

2023-25 投資計画		主な投資内容	総投資額
営業CF 119億円	維持投資 27億円	■ 既存事業維持のための投資	
	成長投資 53億円	■ 技術研究棟 新設 (2024年9月竣工予定)	7.5億円
		■ 札幌製作所 移転 (2027年竣工予定)	25.5億円
		■ 事業拠点整備 (関東支店 新設) (2023年5月開設)	2.2億円
		■ 事業拠点整備 (広島支店移転候補地購入) (2023年12月実施)	3.1億円
株主還元 38億円	■ 新成形棟 建設 (立川機工) (2023年4月稼働)	5.8億円	
	■ サーボモータ事業 譲受 (富士変速機) (2024年1月譲受)	2.0億円	
	■ 事業領域の拡大とアライアンスの検討	—	
	■ 増配継続		
	■ 自己株式取得		

事業活動における環境負荷低減

当社グループ 温室効果ガス(GHG)排出量 (Scope1、2)

2023年1月～12月累計 6,191t-CO₂ (2021年同月比99.0%,前年同月比94.1%)2024年1月～ 6月累計 2,768t-CO₂ (2021年同月比90.0%,前年同月比85.4%)

主な取り組み

- ・ 製造工程の省エネルギー化の推進(高効率設備への更新、再エネ導入等)
- ・ 各事業拠点のLED照明切替の推進
- ・ 営業車両の低燃費車への移行

安心・安全・快適で環境に配慮した住空間の提供

環境に配慮した製品開発

木製ブラインド 『フォレティア』

『国産材』や『自然由来の塗料』を使用した木製スラット導入

国産のヒノキ・スギを使用したスラットや、アマニ油を原料とした自然塗料を塗装した桐スラットをラインナップ。

国内の森林資源を活用し、森林環境の保全・活性化、持続可能な循環型社会への貢献を目指す。

FSC®認証※木材を使用したスラット『ネイチャー』（FSC®-C195138）導入

FSC®100%認証材を使用したスラットをラインナップ。
また、2023年12月に当社の生産拠点である新潟工場、
滋賀工場にてCOC認証を取得。
木材の仕入から製品の組立まで適切な管理で生産を行い、
持続可能な社会の実現に貢献。

※FSC®認証 (FSC®-C195138)

責任ある管理された森林と、限りある森林資源を将来にわたって
使い続けられるよう適切に調達された木部材に対する国際認証制度。



(単位：億円)

	2024年12月期 第2Q			2024年12月期 通期		中期経営計画 最終年度目標
	実績	前年比	計画比	業績予想	前年比	業績目標
売上高	201.7	98.8%	97.7%	428.0	103.6%	445
室内外装品事業	173.2	101.5%	98.0%	356.0	103.7%	371
減速機事業	15.2	79.9%	84.3%	40.0	105.2%	41
駐車場事業	13.3	91.6%	113.4%	32.0	100.6%	33
営業利益	21.8	102.1%	108.2%	41.8	103.3%	44
経常利益	22.8	99.1%	108.8%	43.6	100.8%	46
当期純利益	15.4	103.9%	112.4%	27.6	101.9%	29

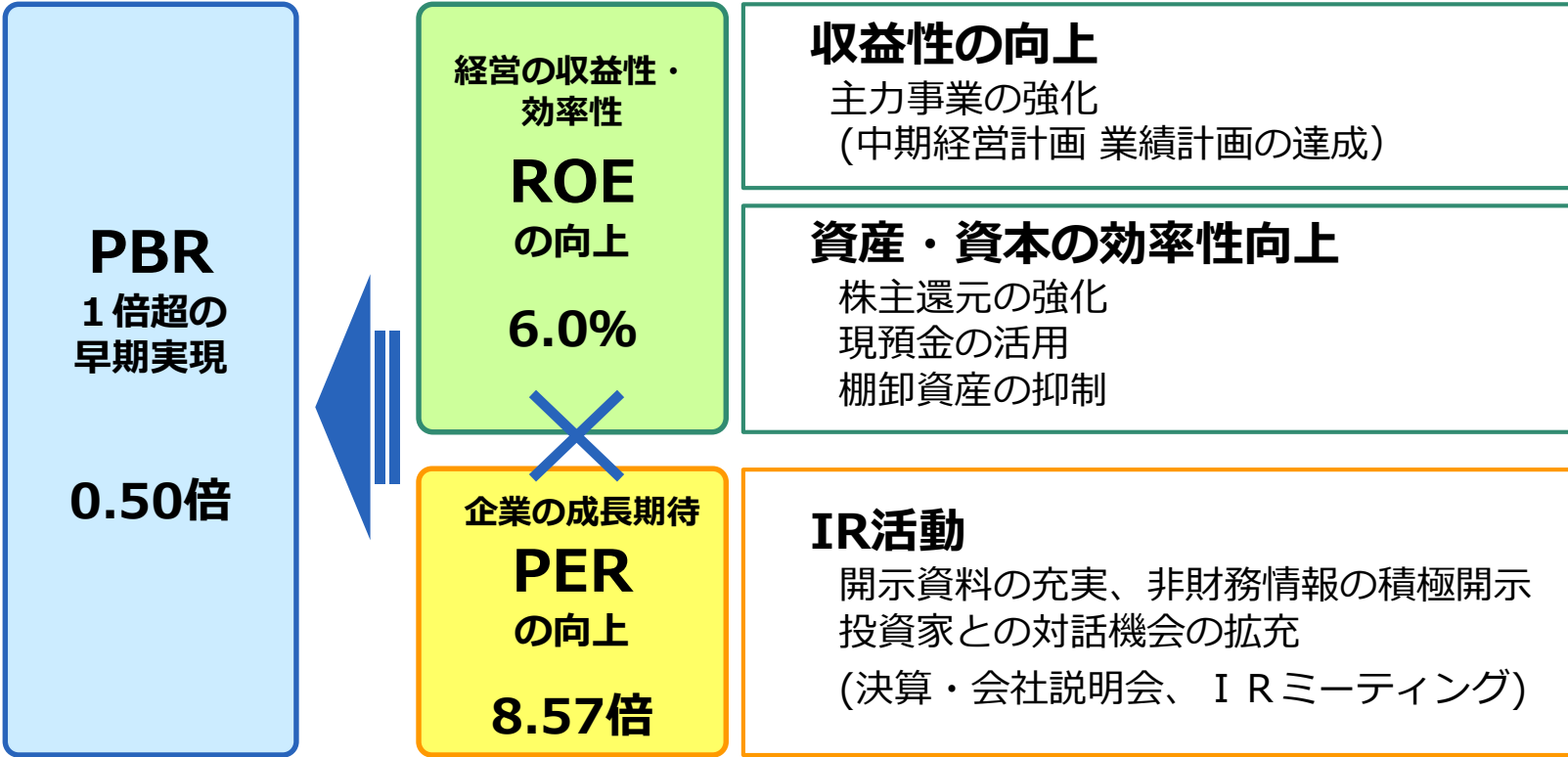
【業績進捗】

- ・ 上期は、売上減収 当期純利益増益。各利益は計画を上回り推移。
- ・ 下期は、室内外装品の主力製品における下期からの価格改定や、減速機における4月発売のサーボモータの拡販などにより、売上・利益を拡大。
- ・ 今後更なる価格改定や高付加価値製品の導入、電動製品や間仕切りなど高単価製品の拡販などの施策を講じ、中期経営計画の達成を目指す。

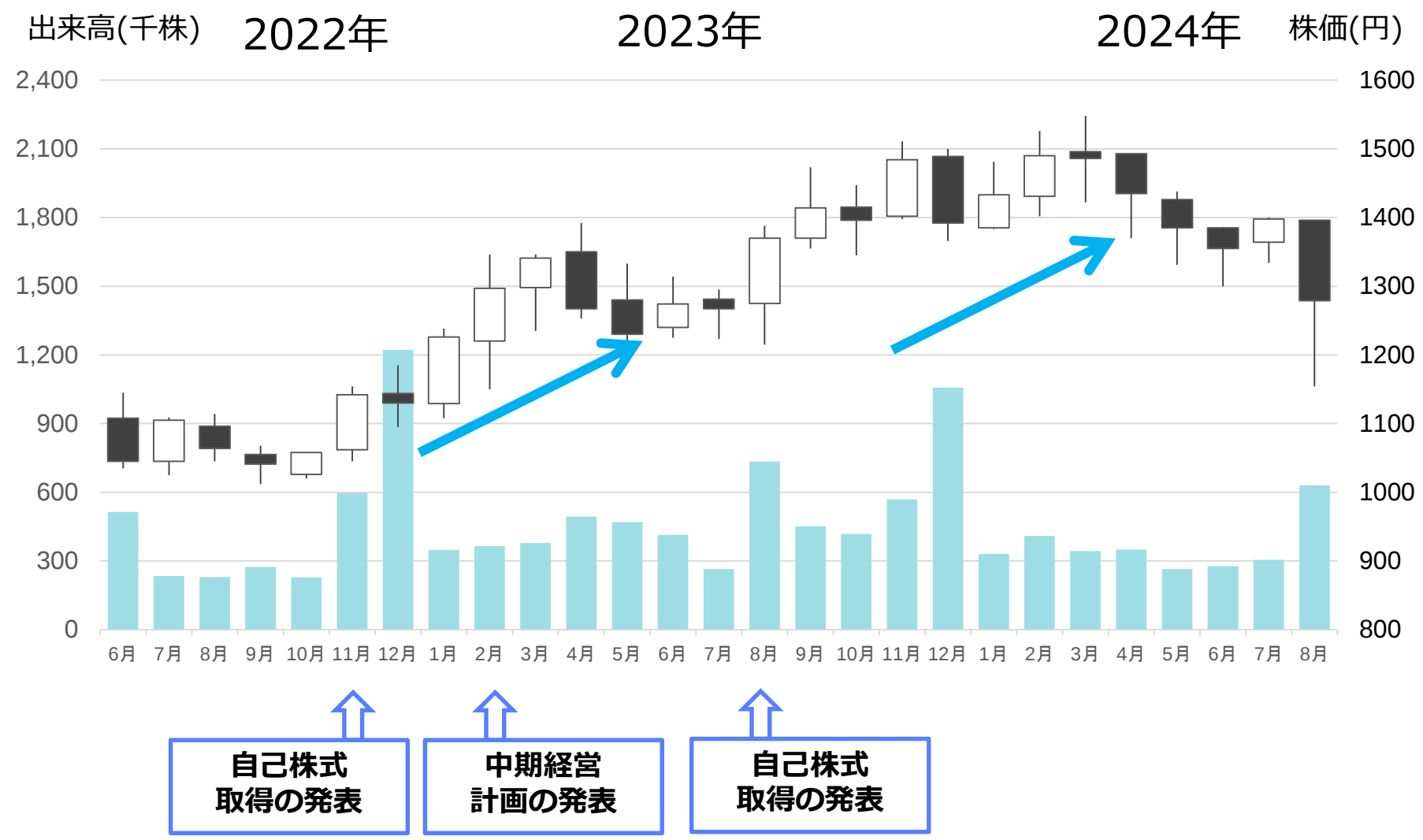
4. 企業価値向上の取組み

- ・ 企業価値の向上に向けた取組み
- ・ 株価・出来高の推移

主力事業の強化や資産効率の改善、株主還元の強化による
「ROEの向上」とIR活動の強化による「PERの向上」により
P B R 1 倍超の早期実現を目指す



(数値は 8 月末時点)

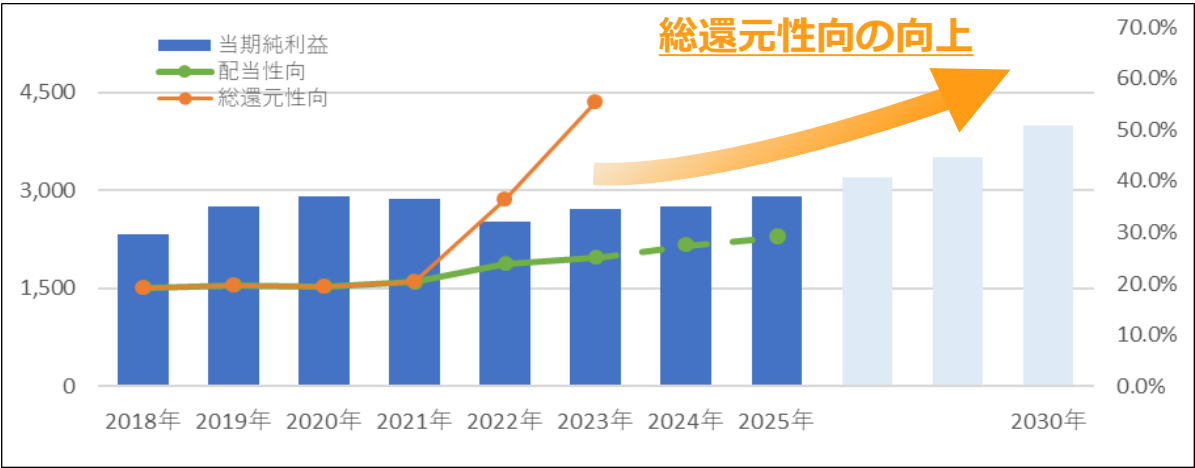


5. 株主還元

- ・株主還元方針
- ・株主優待制度のご紹介
- ・配当・優待シミュレーション
- ・当社ホームページのご紹介

株主還元の方針

- ・減配せず、配当水準を維持 または 増配を継続。
- ・2023-25年の中期経営計画期間中は、**年5円増配**を継続。
- ・将来的には、増配を維持し、経営環境に応じ自己株式の取得を進めることで、**総還元性向50%**の実現を目指す。



	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	← 中期経営計画 →		
	実績	実績	実績	実績	実績	2023年 実績	2024年 見通し	2025年 見通し
1株あたり配当	23円	28円	29円	30円	31円	36円	41円	46円
対前年	+8円	+5円	+1円	+1円	+1円	+5円	+5円	+5円
配当性向	19.3%	19.7%	19.5%	20.4%	23.9%	25.1%	27.4%	29.0%
総還元性向	19.3%	19.7%	19.5%	20.4%	36.3%	55.3%	-	-

8期連続の増配

【自己株式取得期間】
・ 2022年11月～2023年4月
・ 2023年 8月～2024年3月

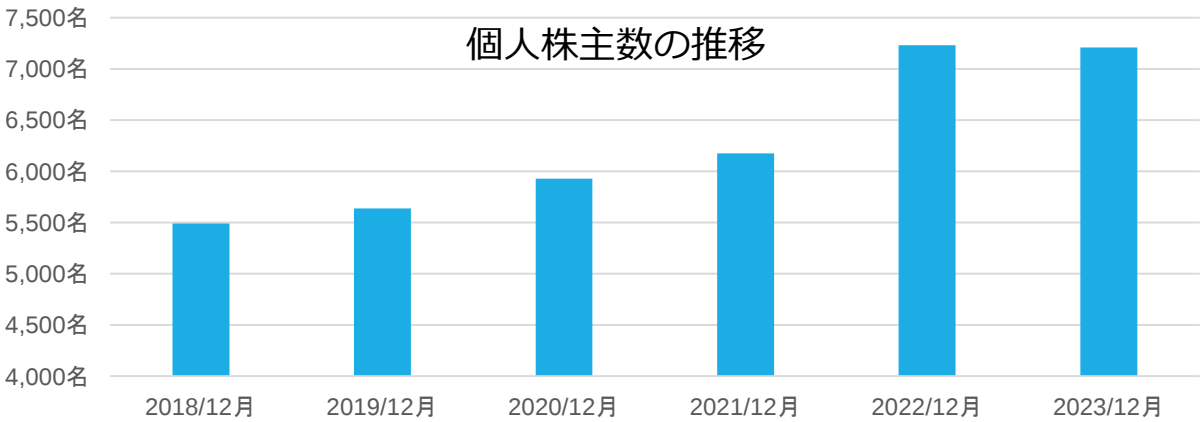
【オリジナルクオカード贈呈】

12月31日時点で当社株式を 100株以上保有している株主様に、保有株式数・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを贈呈。

保有期間		3 年未満	3 年以上
保有株式数	100株以上 300株未満	クオカード 500円分	クオカード 1,000円分
	300株以上 500株未満	クオカード 1,500円分	クオカード 2,000円分
	500株以上 1,000株未満	クオカード 3,000円分	クオカード 4,000円分
	1,000株以上	クオカード 4,000円分	クオカード 5,000円分



クオカードイメージ



↑ 株主優待拡充

- 【中期経営計画期間中の1株当たり年間配当額】
2023年：36円、2024年：41円、2025年：46円

40

当社ホームページでさまざまなIR情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.blind.co.jp/company/ir/>

タチカワブラインド IR 検索



タチカワブラインドグループ
統合報告書 2024（2024.6発行）



ご清聴
ありがとうございました。

将来見通し等に関する注意事項

本資料における当社グループの今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。